

## 会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度 第3回 長岡市子ども・子育て会議
2 開催日時	令和6年12月16日（月曜日） 午後3時から午後5時まで
3 開催場所	市民防災センター 2階 研修室
4 出席者名	<p>(委員)</p> <p>渡辺美子委員長、内藤貴志委員、太田洋一委員、宮下一穂委員、佐藤恵子委員、若井仁資委員、櫻井和夫委員、日野奈保子委員、田邊香織委員、五十嵐俊子委員、高橋美幸委員、岩崎佳洋委員、横澤勝之委員、久保和喜委員、竹内祐貴委員、池田史恵委員</p> <p>(アドバイザー)</p> <p>小池由佳教授（新潟県立大学）</p> <p>(事務局)</p> <p>子ども未来部：星野部長</p> <p>保育課：江田課長、高橋係長、土田係長</p> <p>子ども家庭センター：大久保所長</p> <p>学校教育課：中村課長</p> <p>子ども・子育て課：深澤課長、殖栗課長補佐、馬場係長 丸山主査、猪又主事 金子子どもナビゲーター 池田子どもナビゲーター</p> <p>(計画策定業務受託会社)</p> <p>(株)サーベイリサーチセンター北陸事務所 鈴木主任</p>
5 欠席者名	山川千恵子副委員長、八木義克委員、宮下あさみ委員、成田涼委員、
6 議題	<p>長岡市こども計画(仮称)について</p> <p>(1) 子ども・子育て会議委員からの意見の計画への反映について</p> <p>(2) 第1部～第2部及びこどもの意見反映について</p> <p>(3) 第3部子ども・子育て支援事業計画について</p>
7 会議結果の概要	<p>議事 (1) ～ (3) について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局が資料No.1～資料No.2及び別添資料「長岡市こども計画(仮称)」に基づき説明</li> <li>・質問・意見等は下記のとおり</li> </ul>

8 会議の内容	
事務局	1 開会
事務局	2 議事
委員長	議事（1）子ども・子育て会議委員からの意見の計画への反映について事務局の説明をお願いします。
事務局	資料No.1 及び別添資料に基づき説明  (意見・質問等なし)
委員長	議事（2）第1部～第2部及びこどもの意見反映について、事務局の説明をお願いします。
事務局	資料No.2 及び別添資料に基づき説明
委員長	タイトルについてはどうか。
委員	タイトルはこれでいいと思う。サブタイトルとして、「子育て・育ち“あい”プラン」の表記もあり、現計画との連続性も分かるのでこれでよい。
委員長	議事（3）第3部子ども・子育て支援事業計画について、事務局の説明をお願いします。
事務局	別添資料に基づき説明。
委員	p202～p203 の一時預かりは言葉が分かりづらい。下に説明をつけるなど補足してはどうか。また、R8年度から「こども誰でも通園制度」が始まるが、触れなくてよいか。
事務局	一時預かりの説明については、担当者と相談して補足するかどうかも含めて検討したい。  また、こども誰でも通園制度はR8年度から本格実施となりますが、長岡市ではまだ方針を固めていません。どのように実施するか、どのくらいのニーズがあるかも含めて、必要なタイミングを見

	<p>ながら加えていきたい。</p>
委員	<p>p66 の母子保健推進員の活動について、現在、妊産婦訪問はせず、4 か月の赤ちゃん訪問のみのため、削除してほしい。</p>
事務局	<p>担当者に確認して削除したい。</p>
委員	<p>第3部の子ども・子育て支援事業計画には、障害児の取組がなくともいいのか。また、児童発達支援として交流保育で保育園に行く取組がありますが、どこに掲載されているのか。</p>
事務局	<p>第3部については、国の方で子ども・子育て支援事業計画にはこういうものを載せなさいと決まっていますので、国の規定に則ったものを載せています。</p> <p>もう1点については、担当者に確認して、その事業について掲載するかしないかも含めて検討したい。</p>
委員	<p>p200 の子育ての駅の利用率は何を算出根拠としているのか。</p>
事務局	<p>子育ての駅については、0～5歳児の人口を分母に、分子は延べ利用者数としています。</p>
委員	<p>p202 の預かり保育と一時預かりの利用率の算出根拠について教えてほしい。</p>
事務局	<p>分母は3～5歳児の人口、分子は利用日数として算出しています。</p>
委員	<p>保育の量の見込みで、4月時点での見込みに対して、足りていると理解すればよろしいのかと思いますが、私の職場に2人育休明けの方がいまして、5月の連休明けに入園しないと、今年度の保育ができませんということで、6月まで予定していた育休を早めて出勤してきた方がいました。年度の後半になりますと途中入園ができず、来年の4月まで待つてほしいと言われてたりしています。実際には通わせたいときに通わせられない状況の方もいると思いますが、供給としては足りているということになっています。そのあたりはどのように考えられていますか。</p>

事務局	<p>量の見込みについては、推計人口に対して、お子さんの利用割合をかけて出している数字になります。一方で、確保方策の供給量については、各施設で算定しています利用定員を積み上げた数字になります。</p> <p>計画上では、量の見込みに対して必要な確保方策を提供し、保育需要を賄いきれることになっていますが、個々の施設を見ますと、おっしゃったように途中入園が難しい園もあれば、逆に、定員に少し余裕がある園もあるというところが実態です。個々の施設の利用定員の積み上げが計画上の確保方策の数値になっておりますので、途中入園が難しい場合が、例えば、お子さんが密集しているような団地などでは、可能性として起こりうると思っております。</p> <p>ただ、その場合でも近隣の施設などに入園できるように利用調整をして、了解いただいた中で、入園・入所していただいております。可能な限り保護者の方々の第1希望に添えるよう、また、待機児童が発生しないよう、今後も丁寧に入園調整を行っていきたいと思います。</p>
委員	<p>放課後児童クラブは、利用者数と登録者数の数値が乖離しているので、その算出根拠を分かるように記載してほしい。登録はするけれども利用はしないというように受け取られる。実際の利用者数は計画上の数字より多い人数が利用している。ただ、おそらく1週間何回利用するかで確率を落としていると思いますが、そのあたりが分かるようにしていただかないと、今登録者数が増えている中で、ただ登録しておけばいいやという風に思われても困りますので、記載をお願いしたい。</p>
事務局	<p>登録者数と利用者数について、利用率は市全体平均の50%として計算しています。その考え方について分かるよう表記に工夫したいと思います。</p>
委員	<p>p199の育児支援事業は、初めて聞きましたが、だれが対応しているのか。産後ケア訪問との違いは何か。</p> <p>また、P200の子育ての駅の利用率の記載がありますが、子育ての駅によって、利用率に差があると思いますので、区分して表記した方がいい。</p>

事務局	育児支援事業は、子ども・子育て課すくすく子育て係の助産師や保健師のほか、在宅の助産師や保健師にお願いして実施しています。
委員	産後ケア訪問と何が違うのでしょうか。
事務局	担当者に確認して説明を補足できるかどうかを検討したい。
アドバイザー	養育支援訪問事業と子育て世帯訪問支援事業は整理された方がいいと思います。養育支援訪問事業は、どちらかと言うと、要支援家庭を中心にイメージしていただけるといいかなと思います。障害等ではなく、家事への不安がある世帯と理解していただくとすみ分けができると思います。混乱しているようなので整理してほしい。
事務局	子育ての駅については、ご指摘のとおり旧長岡の3駅と他の駅では差がありますので、表記を工夫したいと思います。
委員	p118 の出産・子育て応援事業について、R7年度からは産後の5万円給付がなくなるということでしょうか。
事務局	来年度から給付制度が変わると国から連絡がきている部分になりますので、分かるような補足説明を考えたいと思います。
委員	P120 の保育園の民営化については、関心が高いところですので、今後そういった情報を園の方にも教えてほしい。
事務局	検討する中で、必要な情報は適宜お伝えしていく。
委員	第2部の施策の展開で、実績見込みに人数や回数を書いてある取組はわかりやすいですが、実績見込みに実施としか書いていないところがありますので、具体的な人数や回数が入っていた方がわかりやすいので、入れてほしい。例えば、p90 の保育園等における医療的ケア児の受け入れは、数が少ないかもしれないが、数値を入れてほしい。
委員	同様に、p117 のこどもサポートコールは、実績見込みが充実となっているが、だれからどんな相談があるのかがわからないので、具

	<p>体的な例を挙げてもらえると分かりやすい。また、相談件数で表記してほしい。</p>
事務局	<p>実績を確認し、相談の見込み件数を表記したい。</p>
委員	<p>施策体系を国の大綱に合わせるということだが、第2期あいプランまでの特徴が見えづらい。市民協働ということは、理念的には入っていると思いますが、言葉としてなくなっているので、残してもらいたい。今のあいプランだと、p40に計画の推進体制として、社会全体で子どもを包んでいる図があるが、今回の計画は市の推進体制の図になっているので、社会全体で支えていくというイメージの図があると、わかりやすいと思う。</p> <p>p43の「2)困難を有する子ども・若者への支援」のタイトルがしっくりこない。障害は困難を有することなのか、むしろ社会の問題なのではと思う。</p>
事務局	<p>計画は、子ども大綱がベースになっていますが、第2期に書いてあります推進体制や、長岡独自の施策など、計画の中で長岡らしさを出せないか検討したい。</p> <p>また、「困難」の部分については、ご指摘のとおりですので、書き方を工夫したい。</p>
委員長	<p>この計画の概要版は作るのか。</p>
事務局	<p>説明用としては、作ろうと思っています。</p>
委員	<p>p131の放課後児童クラブの実施について、児童数が減る中で、実施か所数がR6の51か所からR11の62か所と11施設も増えるのはなぜか。</p> <p>また、p130に児童館という表記があるが、児童会館に統一するべきである。</p>
事務局	<p>表記誤りについては、修正をしたい。</p> <p>また、児童クラブの数が増える理由については、p196の部分になりますが、現在、児童館のみを実施している地域がありますが、来年度からは児童クラブを実施するということで、児童クラブの数が増えるということになります。。</p>

委員	<p>来年度、小学校数は市内で 53 校になるので、児童クラブが 2 つある学校が増えるという考え方でいいのか。</p>
事務局	<p>今まで児童館等で児童クラブのような運用をしていた地域に児童クラブを新設するものです。</p>
委員	<p>P92 の障害児の受け入れについて、今はコミセン内でクラブを運営しているところが多い。障害児や配慮を要する児童が増えているが、民間委託をして、コミセンとの兼ね合いの中で、コミセンでどう対応しようという問題がある。計画では、学校と家庭、その他関係機関等との連携という表記となっているが、こどもたちにどのように接したらいいのかという迷いもある。この計画の書きぶりだと、コミセンはあまり関わらなくてもいいのではないかと受け取ってしまうが、実際は同じ建物内で問題が生じているので、このあたりをどのように整理をしていったらいいのか。</p>
事務局	<p>児童クラブを実施しているコミセンでの配慮を要するお子さんとの関係性について、表記は考えたいと思います。また、具体的な運用については、別の場で相談させていただきたい。</p>
委員	<p>P121 の子育て支援員育成事業について、研修を受けた 61 名の方のうち、どれくらいの方が保育に関わっているのか。</p>
事務局	<p>子育て支援員研修の受講者の半分くらいが現在保育園等で働いている無資格の方で、研修受講により施設における職員配置・勤務パターンが柔軟に行えるようになります。それ以外の新規の方には、どういった施設で支援員を募集しているかという情報提供を行うとともに、各施設の方にも研修修了者の雇用希望を確認し、雇用のマッチングを図っておりますが、残念ながら、多くの方が施設で働いていただいている状況ではないというのが実態としてはあります。したがって、今後も情報提供を丁寧に行っていく中で、多くの方から現場で働いていただけるような環境を作っていきたいと考えています。</p>
委員	<p>P122 の子育ての駅的环境改善に関連して、子育ての駅は小学生でも利用できるのかという質問を受けるので、小学生も利用できる</p>

事務局	<p>ことを伝えていただけたらと思います。</p> <p>小学生でも利用できることをホームページも含めて発信していきたい。</p>
委員	<p>こどもの意見が入ることはすごく素敵だと思うが、「しあわせに生きていくために必要なこと」として、こどもたちがワクワクして言ったことが、文章にはなるけれど、何も実施されないということになると、大人に期待しなくなると思うので、計画がある程度決まったら、こども会議のように、こどもたちが自分たちのことを考えるようなことができれば、こどもたちもワクワクする。</p> <p>例えば、P133のティーンズラボのように、ワクワクするような取組もありますし、こどもたちのプレゼンコンテストをするなどして、こどもたちから参加してもらおうと、もっと興味を持つと思いました。また、こどもは自分が言ったことが何か1つでも叶うと、大人に言ってもちゃんと叶えてもらえるんだと感じると思いました。</p>
事務局	<p>こどもの意見を聴く場というのは、この計画策定以降もいろいろな形で実施していきたいと思っております。来年にはミライエに集まってもらって、意見を聴く場を設けたいと考えています。また、意見をどのようにフィードバックしたらよいかについても引き続き考えていきたい。</p>
アドバイザー	<p>3 その他 アドバイザーからのまとめ</p> <p>こども計画策定の中で大事になってくるのは、「こどもの権利をどう守るか」、「こどもの最善の利益をどう形にしていくか」、「こどもの意見を聴く」の3つの観点から、各事業が紐づいてできていることである。長岡市の計画は、こどもが権利の主体だということからスタートしており、非常に意義があると思う。</p> <p>また、こどもたちに意見を聴くと、「自分たちが権利の主体である」や「平等に権利を持っている存在である」と言った意見が出てくるんだなと思った。それを文章として形で残していくことが大切である。</p> <p>ただ、こどもの意見を聴くのは大事だが、大人も全部実現できるわけではないので、できないことはどうやったら形にしていくことができるかをこどもと一緒に考えていくという姿勢が、こどもたちの意見を聴くときに大事である。そのことが、こどもをパートナー</p>

として、対等な存在として見ることに繋がっていくと思います。

計画の中で気になったのは、施策の目標のところ、「維持・継続」などいろいろな言葉がある。前回の計画の時は、説明が入っていたが、今回は入ってないのはなぜか。また、数字が入ってるのと、言葉が入ってるのがあり、統一感がないので、整理していただけるとありがたい。

障害のあるお子さんについての表記は今回は非常に難しいと思う。なぜかという、今回のこども計画の中で、メインで取り組むように言われているのは、少子化対策、子ども・若者施策、貧困対策の3本柱です。その他に入れるものがいくつかあるという中に障害はあまり入ってこないのも、事業としては少し入りづらいが、理念としては、基本的に障害がある、なしに関わりなく、全ての子ども・若者を対象としているというのが前提で入ってるので、ご理解いただければと思います。

子育て支援センター等の利用率をどう考えるかについて検討をお願いしたい。長岡市の計画では分母を0～5歳児の人口数、分子を実際利用した延べ人数としている。本来であれば、長岡市の0～5歳児のいる家庭の中で何%の人が使ってるかを示さないと、利用率は意味が無いのではと感じた。利用率が低くなったら整理していくという考え方であれば、この利用率は意味をもつが、一方で、長岡市は広いので、このエリアには1つ子育ての駅を必ず確保していきましょうという考え方でいくのであれば、利用率にこだわる必要はない。あとは、皆さんが、自分が住んでいるエリアの中で、どのくらいの規模感で、子育て支援センターや子育ての駅等があれば、自分たちが子育てをするときに相談に行きやすいとか、遊び場として利用しやすいといった観点で、利用率にこだわらず、考えていくといいと思いました。

今回の長岡市の計画案には、国が示す子ども・子育て支援に関する事業のうち掲載されていないものがあり、「こども誰でも通園制度」などが入っていない。現在取り組んでいないので掲載してないというのは理解できるが、そもそも、国がどのような事業を計画に盛り込むことにしているのかは、共有しておいた方がいい。「こども誰でも通園制度」に関する質疑もあったが、今回の計画案に搭載しない理由は確認しておいた方がよいと思う。この計画は今後5年間の事業計画であるが、長岡市が当該事業に取り組まないのか気になる場所である。

学童クラブの50%の想定利用率は、もう少し高くなるのではと

事務局	<p>予想される。なぜかという、0歳からの就園率は高くなっており、60代女性の就業率も上がっている。祖父母で働いている方たちが増えてくると、当然、児童クラブの登録率も上がるのが予想される。こどもたちが地域の中で減っている中で、児童クラブに行かないと放課後遊べなくなり、こどもの居場所が家と児童クラブだけになってしまっている、利用率の50%は要検討していただきたい。</p> <p>市民協働も入れていただきたい。p49の県・関係機関との連携の項目があるが、ここに入れるのもいいかと思った。</p> <p>あと図を入れる工夫もしてもらえるといい。前回の計画のところ、少し入っていて、主要なところ、例えば表紙とかに入っていると皆さん伝わりやすいと思う。</p> <p>以上ここまで細かい話をしたが、長岡市の計画は全体的にすごくよく練られているので、さらにブラッシュアップする形で修正していくとさらに良くなる。皆さんのご意見が活かされていくことを期待する。</p>
9 会議資料	4 閉会 別添のとおり